

http://www

新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2011年4月1日から通常の季節性インフルエンザに変わりました。

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

発行日 Newsletter Date
2012年1月12日

Front Page

『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』2012年第1号

目次 Inside This Issue

- 1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第5号
- 2 県内もインフルエンザが流行シーズンに入りました
- 3 鳥インフルエンザなどの発生情報

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を
平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ
対策にもご活用ください。

Information

県内もインフルエンザが流行シーズンに入りました

青森県は、平成23年12月28日、平成23年第51週(12月19日~12月25日)のインフルエンザ定点あたり報告数が流行開始の目安である1.0を上回り、流行シーズン入りしたと発表しました。

青森県感染症発生動向調査の第51週の定点あたり報告数が1.1(定点数65ヶ所、報告数71人)となりました。流行開始の目安としている1.0を上回り、今年も流行シーズンに入ったと考えられます。

■ 平年並みの流行シーズン入り

第51週での流行シーズン入りは、平年並みの時期、流行入りです。

■ 第51週における発生状況は、次のとおりです。

- ① 保健所管内別では上十三保健所管内(3.1)、弘前保健所管内(2.0)、五所川原保健所管内(0.7)、八戸保健所管内(0.6)の順となっており、前週の報告数よりも増加が認められています。
- ② 年齢別では、14歳以下の子供の報告数が全体の約7割を占めています。また、報告数は少ないものの高齢者の患者も報告されています。
- ③ 国内におけるインフルエンザウイルスの検出状況については、AH3亜型(A香港型)が多く検出されています。A香港型は重症化することが多いため、高齢者や乳幼児では特に注意が必要です。

【青森県 インフルエンザの発生状況 12月28日】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/files/2011-1228-1419.pdf>

青森県のインフルエンザの発生状況

青森県感染症発生動向調査によると、平成23年第52週(2011年12月26日~2012年1月1日)の定点あたり報告数が1.4(報告数90)、平成24年第1週(1月2日~1月8日)の定点あたり報告数が1.8(報告数116)となっています。

【青森県感染症情報センター 青森県感染症発生情報 1月12日】

<http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html>

News

鳥インフルエンザなどの発生情報

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2012 年 1 月 11 日)

確定症例	577 人
うち死亡例	340 人
致死率	58.9%

鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

1. WHO は、1 月 5 日、エジプトにおける鳥インフルエンザ (H5N1) の新たな 1 例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ 患者はミヌフイーア行政区の 42 歳の男性で、2011 年 12 月 16 日に発症、12 月 21 日に重症化により入院し抗インフルエンザ薬 (オセルタミビル) による治療を受けましたが、その翌日 (22 日)、死亡しています。
- ▶ エジプトでは、157 例の確定患者が発生し、うち 55 例が死亡 (2011 年では、38 例の確定患者が発生し、うち 15 例が死亡)。これは、インドネシアに次いで世界第 2 位の発生状況となっています。

【WHO 鳥インフルエンザ—エジプトの状況 2012 年 1 月 5 日】
http://www.who.int/csr/don/2012_01_05/en/index.html

2. WHO は、1 月 5 日、中国における鳥インフルエンザ (H5N1) の新たな 1 例の確定症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ 患者は (香港に隣接する) 広東省深圳市の 39 歳の男性で、2011 年 12 月 21 日に発症、12 月 25 日に重症化により入院、12 月 31 日に多臓器不全で死亡しています。
- ・ この患者はバスの運転手で、発症前に、感染に関連するような旅行歴はなく、鶏・野鳥との濃厚接触や環境への暴露あるいは感染患者との接触の有無は不明となっています。
- ・ 患者から分離されたウイルスは、香港で最近検出された野鳥のウイルスに類似し、香港では、2011 年 12 月、鶏・野鳥から鳥インフルエンザ (H5N1) が検出されていますが、患者が住む広東省で、動物での鳥インフルエンザ (H5N1) 発生報告はされていませんでした。
- ・ 欧州疾病管理センター (欧州 CDC) によると、患者のウイルスが香港の野鳥から検出されたウイルスに密接な関連があることから、今回のウイルスはヒト由来ではなく、鳥由来である可能性がより高いとしており、公衆衛生上の現在のリスク評価には変更がないとしています。
- ▶ 中国では、41 例の確定患者が発生し、うち 27 例が死亡 (2011 年では、1 例の確定患者が発生し、うち 1 例が死亡)。

【WHO 鳥インフルエンザ—中国の状況 2012 年 1 月 5 日】
http://www.who.int/csr/don/2012_01_05b/en/index.html

【ECDC 中国広東省における鳥インフルエンザ A (H5N1) によるヒトの死亡 2011 年 1 月 4 日】
http://ecdc.europa.eu/en/publications/Publications/120105_TER_RA_H5N1_China.pdf

- ◆ 韓国は、中国への渡航者に対して、感染予防策をとるよう警告を発しています。

【朝鮮日報 鳥インフルエンザによる死亡、中国への渡航に対する警戒 1 月 5 日】
http://english.chosun.com/site/data/html_dir/2012/01/05/2012010501361.html

3. インドネシア保健省は、1 月 11 日、鳥インフルエンザ (H5N1) の新たな 1 例の症例を発表。患者等に関する情報は次のとおりです。

- ・ この患者はジャカルタ県の 24 歳の男性で、2011 年 12 月 31 日に発症、

1月6日に入院、同月7日に死亡しています。

- ・患者は、発症前に飼養していた病気のハトに接触しています。

▶ インドネシアでは、183例の確定患者が発生し、うち151例が死亡。

【WHO 鳥インフルエンザインドネシアの状況 2012年1月11日】
http://www.who.int/csr/don/2012_01_11/en/index.html

○鳥インフルエンザ A (H5N1) が再出現した 2003 年以降、2012 年 1 月 11 日までに、WHO に報告された鳥インフルエンザ A (H5N1) 確定症例の累計数は 577 人となっています。そのうち 340 人が死亡しています。(致死率は、58.9%)

【WHO ヒトの高病原性鳥インフルエンザ (A/H5N1) 感染確定症例数】
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/EN_GIP_20120111CumulativeNumberH5N1cases.pdf

4. WHO は、1月6日、「鳥インフルエンザ (H5N1) のヒトの感染等に関する要約と評価 (12月5日現在)」を発表。その内容は次のとおりです。

- ・ エジプト、インドネシアは、家禽での H5N1 ウイルス定着を公式に宣言。また、国連食糧機関 (FAO) の情報によると、中国、インド、ベトナム、バングラディッシュでは家禽での H5N1 ウイルス循環が定着状態で続いているとしています。毎年この時期、鳥での H5N1 発生数はやや増加しています。H5N1 発生の季節的なパターンによれば、今後、鳥での発生やヒトでの感染例も継続的に増加することが予測されています。
 - ・ 家禽での H5N1 発生がある国では感染家禽や汚染環境への接触により H5N1 ウイルスへの暴露が続くため、散発的なヒトでの感染例が発生すると考えられています。しかし、H5N1 ウイルスの地域感染は報告されておらず、これらの散発的な感染例や小さなクラスター (感染集団) の発生は通常とは異なるものではないとしています。
 - ・ 最近報告されている H5N1 変異株については、公衆衛生上のリスクを高めないものと考えられています。
- ▶ WHO では、2011 年 2 月以降毎月、この報告 (「要約と評価」) をするようになっていきます。

【WHO 人獣共通のインフルエンザ 2011 年 12 月 5 日現在の要約と評価 1 月 6 日】
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/avian_influenza/Influenza_Summary_IRA_HA_interface.pdf

続報 新たなインフルエンザの感染症例の発生 (米国)

1. 米国カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) は、新たな A 型インフルエンザ (変異型 H3N2 ウイルス) の感染症例について、次のような情報を提供しています。

①ウエストバージニア州の状況

- ・ ウェストバージニア州では、これまでに 2 人の変異型 H3N2 ウイルスへの感染患者が報告されていますが、このうち 1 人の患者に接触した 70 人のうち 23 人がインフルエンザ様症状を呈するというクラスター (感染集団) 発生の可能性が確認されています。
- ・ クラスターの患者は全員回復しており、現在、これらの患者の検体検査が行われています。

【CDPH 現在の変異型 H3N2 ウイルスに関する助言 2011 年 12 月 15 日】
<http://peds.stanford.edu/chiefblog/2011/12/30/111230%20CDPH%20H3N2.pdf>

米国でのブタ由来インフルエンザの感染症例報告数の状況

○H3N2 感染例 (2011 年 9 月以降)

発生州	数
インディアナ州	2
ペンシルバニア州	3
メイン州	2
アイオワ州	3
ウエストバージニア州	2
合計	12

○H1N2 感染例(2007 年以降)

発生州	数
ミシガン州	1
ミネソタ州	1
合計	2

○H1N1 感染例(2011 年 12 月)

発生州	数
ウィスコンシン州	1
合計	1

※黄色マーカー部は、ヒト-ヒト感染

②カリフォルニア州の患者発生の可能性

- ・ 変異型 H3N2 ウイルスに感染した可能性がある子供の患者が、カリフォルニア州マリン郡で発見されました。この患者の検体は、変異型 AH3 亜型陽性となったことから、現在、確認検査が行われています。
- ・ この患者は、同州ナパ郡の住民で、症状は軽度であり、治療を受けています。

【カリフォルニア州マリン郡 インフルエンザ・サーベイランス第 50 週 2011 年 12 月 30 日】
http://www.marinflu.org/images/stories/Marin_Flu_Update_2011-12_wk_50.pdf

2. 米国疾病管理センター（米国 CDC）は、1 月 9 日、次のような更新情報を提供しています。

- ① 変異型 H3N2 のヒトでの症例数が増加している理由は明らかでない。
 - ・ 症例数が増加している要因として、新たなインフルエンザの検知能力が向上したこと、国内外の新たなインフルエンザウイルスの報告の必要性があること、ブタへの暴露又は限定的なヒト-ヒト感染による症例が実際に多くなっていること、を挙げています。
- ② ヒトの変異型 H3N2 の症状は、季節性インフルエンザの症状に類似しており、鼻水、のどの痛み、目のかゆみ、吐き気、嘔吐及び下痢なども含んでいる。
- ③ 研究報告によると、成人では変異型 H3N2 ウイルスに対する交差免疫性を幾分か有しているが、子どもでは無い。
- ④ 変異型 H3N2 ウイルスは、抗インフルエンザ薬のオセルタミビル及びザナミビルには感受性を有するが、アマンダジン及びリマンダジンには感受性がない。
- ⑤ ブタ由来インフルエンザのヒトへの感染症例については、効率的あるいは継続的な感染拡大をしていないことを確認するために十分な調査が必要である。
- ⑥ 米国政府は、変異型 H3N2 ワクチンの臨床試験に向けた準備の段階を踏んでいる。

【CDC 変異型ウイルスのヒトへ感染に関する重要な事項 2012 年 1 月 9 日】
<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/keyfacts-variant.htm>

[注意] 2011 年に報告されたインフルエンザ (H1N1) 2009 の遺伝子を有するブタ由来インフルエンザ A/H3N2 ウイルスについては、「変異型 H3N2 ウイルス (H3N2variant、H3N2v)」と呼ぶことにしています。

編集後記

青森県も、インフルエンザが流行シーズンに入りました。

インフルエンザは、ただの“かぜ”とは違い、症状が重く、特に幼児や高齢者など抵抗力の弱い方々がかかると重症化しやすく、死に至る場合もあります。

手洗い、うがい、外出時のマスクの着用等、インフルエンザの予防（下記参照）を行うとともに、かかったかなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。

【インフルエンザ予防対策】

○ かからない

- できるだけ人混みは避けるとともに、外出後の手洗い・うがいを心がけましょう。
- 体調を整えて、抵抗力をつけましょう。

○ 重症化させない

- 本格的に流行する前に、インフルエンザの予防接種を受けましょう。

○ うつさない

- 人に向かって咳をしない。咳が出るときは「咳エチケット」に心がけましょう

【青森県庁「インフルエンザの予防について」】

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/2011-2012seasonal_flu.html

〔情報は随時更新中です。〕

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9284

Fax:

017-734-8047

E-mail:

hoken@pref.aomori.lg.jp

青森県庁「インフルエンザ対策」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html

青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter